

# 山海平野！ToMo 区分会報

2025年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2025年 7月 1日(火)発行 第59号

## 1月行事予定

- 7月3日 (木) 七タレク (えーる)
- 7月5日 (土) 温泉レク(えーる)
- 7月7日 (月) 七タレク (ToMo ハウス)  
工賃支給日
- 7月12日 (土) 19日 (土) 法人休業日
- 7月21日 (月) 海の日
- 7月26日 (水) 温泉レク (えーる)

日本列島が熱波に包まれ中東情勢は緊迫化し食糧危機にも苛まれている現状、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、最近のえーるの活動の様子ですが、音楽活動（カラオケ・クラシック鑑賞・生演奏と共に歌う等）や、貼り絵、パズルに取り組んでいます。点つなぎパズルや習字に勤しむ姿も見られます。当事者の皆さん世代は様々ですので、それぞれの好きな曲を聴く時間や得意分野、趣味等を通して視野を広げていく機会になればと思います。目標として、何かのイベントやコンサートに出演し日頃の練習の成果を発揮できるように取り組むことで、練習の励みにしているところです。

また温泉レクを月2回程実施しています。

徒歩にて、天然温泉「ゆうひの館」まで行き、ゆったり入浴し、入浴後の水分補給時には、ニコニコと笑顔が見られています。

他の活動ですが、公用車の洗車を当事者の皆さんと状況に応じて実施、また、地域のゴミ拾いも行っています。

何分至らない事は多々ある事とは存じますが、皆様のご意見やご指導、応援(えーる)のお陰をもちまして、少しずつ成長に繋げ、生活介護センターえーるが、安心感と幸せと



喜怒哀楽の感動

を共有できる場なってきています。日頃よりご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます。この場をおかりして御礼申し上げます。今後とも、宜しくお願ひ致します。

文責 濱田晃嘉

# 山海平野！PORT 区分会報

2025年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2025年1月1日(火)発行 第59号

## 7月行事予定

- 7月 7日 (月) 工賃支給日
- 7月 9日 (水) GH ミーティング  
(いちご)
- 7月 12日 (土) 法人休業日
- 7月 19日 (土) 法人休業日
- 7月 21日 (月) 海の日
- 7月 23日 (水) GH ミーティング  
(けやき)

暑さが本格的になってきましたが、皆さま体調を崩されてはいないでしょうか。これから夏本番を迎える、熱中症や食中毒など、日常生活の中で気をつけなければならぬことが多いくなってきます。

グループホームでは、職員がこまめな水分補給を促したり、夏場だけでなく日頃から食器や食品の管理を徹底し、食中毒を予防する支援を行っています。



さて、話は変わりますが、今年も6月29日(日)に開催される「函館マラソン」に、

グループホームの入居者と職員がハーフマラソンの部に参加します。

5月中旬から練習を開始し、毎週、七飯町内を走って本番に向けて準備を重ねてきました。毎年完走を達成しており、今年も少しでもタイムを縮められるようにと、練習にも力が入っています。

近年は大会当日の気温が高くなることが多いため、体調を崩さないよう事前に給水ポイントを確認し、職員も伴走しながら、全員が無事にゴールできるよう万全の準備を整えています。

函館マラソンの結果については、次号の会報にてご報告いたしますので、どうぞ楽しみにお待ちください。



文責 区分長 武田 大河

# 山海平野！WORK 区分会報

2025年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 2025年7月1日（火）発行 第59号

## 月 行 事 予 定

- 7月6日（日）食KING市
- 7月7日（月）工賃支給日
- 7月12.19日 法人体業日
- 7月14日（月）防火防災点検日
- 7月15日（火）WORKながま～るレク
- 7月24日（木）WORKながま～る風水害避難訓練
- 7月25日（金）GH風水害避難訓練

小暑を迎え、日増しに暑くなつて参りましたが、皆様お変わりございませんでしょうか。

熱中症に気をつけなくてはならない季節がきましたね。対策としては、規則正しい食生活、十分な休息、こまめな水分補給、暑さを避ける、そして暑さに備えた体力づくりだそうです。

この体力づくりは、熱中症のみならず、健康維持や災害対策にも重要な事と思っています。

6月13日、避難訓練を行いました。利用者の皆さんには、よく話を聞いて行動してくれました。

さて、皆様は防災リュックはお持ちですか？地震、津波、豪雨、土石流、噴火など、災害はいつ起こるかわかりません。避難を余儀なくされた時、慌てない為にも準備をしておく事は、とても大切な事だと思います。

日本海溝・千島海溝巨大地震、南海トラフ巨大地震などは、過去の発生から予測して、30年以内に発生する確率が高いと示されて

います。巨大地震や津波が来たらどうしますか？日頃からハザードマップで、避難場所の確認をし、シミュレーションをし、防犯意識を高めておく事や、家族で対策を話し合っておく事も大切です。

東日本大震災は、ハザードマップにはない想定を超える巨大地震でした。過去の経験から、「津波でんでんこ」と言って、津波がきたらてんでんばらばらに逃げる！を教訓に、釜石の小中学生は、ほぼ全員が津波の難を逃れました。これを「釜石の奇跡」と言われていますが、これは奇跡ではないのです。過去の経験と日頃の訓練、教育の中で、小中学校が身につけた対応力であり、想定外を乗り越



えさせたもの  
だと思います。

当施設でも、年2回以上避難訓練は行っておりますが、災害はいつ起こるかわかりません。

色々な場面を想定して考えなければなりません。その為には、職員の連携は不可欠です。私たちは日々話し合いを重ね、いざという時にスムーズに避難できるよう取り組んで行きます。

文責 中島 利枝